



「ここにきてよかったね」
すべての生命が祝福されている

レイチェル・カーソンの世界的ベストセラーを森田真生が訳し下ろし、同時に「その続き」としての「僕たちの『センス・オブ・ワンダー』」を併録。カーソンの問いかけに回答しつつ、60年後の今を生きる森田の問題意識に基づいた読み解き、新しい人間像の模索を行う。

センス・オブ・ワンダー レイチェル・カーソン、森田真生：著
森田真生：訳 西村ツチカ：絵 筑摩書房
四六判上製 184頁 2024年3月刊 ISBN:9784480860965 1,980円



生命の星・地球の病に
診断を下し、治療を施すために

生物種内部の多様性、ヒトを含めた生物どうしのつながり、気候や地史の影響など、さまざまな要素が絡み合って構成される「生物多様性」。種の絶滅を阻止し、今後も進化を続ける可能性を守る知識を伝えるために、1996年発行のロングセラーをアップデート。

保全生態学入門 改訂版
矢原徹一、鷲谷いづみ：著 文一総合出版
A5判並製 336頁 2023年5月刊 ISBN:9784829965344 3,960円



生物世界の多様性が
一目瞭然でわかるアトラス！

フランスの気鋭の研究者たちが、100点以上の地図やグラフィックデータを用い、生き物の世界の豊かさ、複雑さ、数えきれない相互作用、人間との関係について語った上で、破滅的事態と再生のチャンスのあいだを揺れ動く現状を解説し、再生への道筋を明確に示す。

地図とデータで見る 生物多様性の世界ハンドブック
サラ・ポルトラミオル他：著 吉田春美：訳 原書房
A5判並製 164頁 2025年1月刊 ISBN:9784562074693 3,850円

* 価格は10%税込、2025年9月のものです。

..... 出版社クイズ

なんとこの名前の出版社かわかりますか？

① 創業は1961年。出版社に一年間だけ勤めた女性が立ち上げる。企業のPR誌も手掛ける中で「デザインの大切さ、マーケティングの大切さ」を徹底的に学ぶ。最初のヒット作は寺山修司文、宇野亞喜良絵の『ひとりぼっちのあなたに』。

② 70年代は文学、芸術、音楽、舞台、映画など、ありとあらゆるジャンルを詰め込んだ玉手箱のようなビジュアル雑誌を刊行。ここに集ったクリエイターたちが様々なジャンルの作品を生み出した。この流れが80年代は漫画・バレエ誌、90年代には思想誌を生み、現在のラインナップへと発展していく。

③ 「出版ほど面白いことはない。やる気になれば何でも一人できる」は創業者の言葉。後継者である現社長は読者に寄り添いつつ、その楽しみ方を映像・イベント・グッズ等あらゆる形で具現化している。

*クイズの答えは次号(28号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

前号のクイズのお答え

社は「Sweet & Fresh」
パイ インターナショナル

1987年、グラフィックデザイナーの三芳伸吾が創業。当初はデザイナー向けの参考資料集を刊行していたが、その後はビジュアル本の企画・編集技術を活かし、芸術・実用・児童・漫画といった分野へと広げた。

代表作は、芸術では海野弘『おとぎ話の幻想挿絵』シリーズ。実用では『100枚レターブック』シリーズ。児童では「てづかあけみ はじめてのえほん」シリーズや、ヒド・ファン・ヘネヒテン『おむつのなか、みせてみせて!』シリーズ、いぬいさえこ『きみのことが だいすき』シリーズ。漫画では坂月さかな『星旅少年』がある。



梓会
図書館クラブ
通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

人類の地球環境の消費は止められるのか。

今回のテーマは、
「ネイチャーポジティブ——
人類が生きのびるための生物多様性への挑戦」
です。

消費より創造を。
生物全体としての未来を考えます。



27号(2025年9月)
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





地球の未来に向けた新しい指針 生態学のラディカルな冒険！

生態系の回復と社会の変革を目指す真の革命「リワイルディング」とは何か。リワイルディング科学の要である大型動物と草地の相互作用による生態系の回復、先駆的なプロジェクト例、倫理・政治・実践を考慮した実現可能な活動、将来についての予測を紹介する。

リワイルディング ポール・ジェプソン、ケイン・プライズ：著
管 啓次郎、林 真：訳 松田法子：解説 勁草書房
四六判上製 224頁 2025年2月刊 ISBN:9784326750603 3,300円



迫りくる天敵と地球温暖化…。 ライチョウがあぶない！

特別天然記念物のライチョウにいま、絶滅の危機がせまっている。高山の生態系がくずれ、急激にその数が減っているのだ。地球温暖化の影響も心配されている。ライチョウの研究と保護につきす鳥類学者・中村浩志先生のすがたを通して、日本の自然環境を考える。

ライチョウを絶滅から救え
国松俊英：著 小峰書店
四六判上製 175頁 2018年12月刊 ISBN:9784338321013 1,650円



絶滅危惧種の蝶とソバの実りを 調べたフィールドワークから

ヒトは本来、脱自然化した環境で暮らすようにデザインされていない。アレルギー疾患の急増は、都市生活への不適応症候群だ。人と自然の適度な関わりを取り戻すことこそが、生態系の持続性のカギとなる。人-自然-生物の相互依存的な関係を綴ったエッセイ。

ソバとシジミチョウ——人-自然-生物の多様なつながり
宮下直：著 工作舎
四六判並製 256頁 2023年9月刊 ISBN:9784875025573 2,860円



食うか食われるかではなく、 食い、そして食われる関係へ！

ダーウィン進化論以降、適者生存がベースとされてきたが、土壌微生物、植物、昆虫など、生物間の緊密な協力が近年の研究で明らかに。自然との関わりを深めて行動を起こした研究者、農場主を訪ね、生物界に隠された「互恵」をめぐる冒険を描く驚きと希望のリポート。

互恵で栄える生物界——利己主義と競争の進化論を超えて
クリスティン・オールソン：著 西田美緒子：訳 築地書館
四六判上製 332頁 2024年10月刊 ISBN:9784806716709 3,190円



地球沸騰化の時代に突入した今 私たちは何をすべきか考える

危機的ともいえる状況を迎えている地球の温暖化。自分ごととして捉えにくい、この「気候変動」問題について、科学的な視点のみならず経済からの視点も交えて、洗練されたイラストでわかりやすく解説します。これからの社会を考えていくための科学絵本。

わたしたちの地球と気候変動——過去を知り、未来を守る
森田香菜子：監修 ミヤタジロウ、デュフォ恭子：絵 偕成社
24×29cm上製 72頁 2024年12月刊 ISBN:9784037310004 4,950円



動物の権利運動の理論的基盤、 30年ぶりの全面改訂版

動物の権利運動の理論的基盤となってきた不滅の名著、30余年ぶりの全面改訂版を完全新訳。最新のデータと議論にもとづき本文の3分の2を書き換え、さらに気候変動や新型ウイルスなど新たなトピックを盛り込んで、21世紀の緊急課題に応える。

新・動物の解放
ピーター・シンガー：著 井上太一：訳 晶文社
四六判並製 448頁 2024年12月刊 ISBN:9784794974549 4,400円



生命の歴史物語を読む生命誌 その第一人者の素顔と来し方

「生命誌」という新しい分野の先頭を走り続ける科学者であり、映画や舞台の制作・出演など幅広い活動を続ける中村桂子という人間はいかにして生まれたのか？ AIや機械に振り回されないためにはどうすればいいのか？ 戦前生まれの科学者のその来し方と素顔の日常。

中村桂子 ナズナもアリも人間も
中村桂子：著 平凡社
B6変型判上製 112頁 2018年11月刊 ISBN:9784582741162 1,320円



人も自然も犠牲にしないビジネス と組織をどう実現するか？

「機械」から「生命システム」へ——エコシステム全体の繁栄を目指す、新パラダイムのリーダーが世界中で出現している。幅広い事例と学術的知見を統合して生まれた、「人と自然」「内と外」「男性性と女性性」の分離をつなぎ直す「リジェネレーション」の実践書。

リジェネラティブ・リーダーシップ——「再生と創発」を促し、生命力にあふれる人と組織のDNA
ローラ・ストーム、ジャイルズ・ハッチンズ：著 小林泰紘：訳 英治出版 A5判並製 480頁 2025年1月刊 ISBN:9784862763334 3,850円



食糧問題から気候変動まで、 経済思想の歩みから未来を考える

経済学は全てに通ず。地球温暖化は悪いとわかっても行動を変えられない私たちに経済学は多様な視点から現実を考える鍵をくれる。古今東西の多様な経済思想家に出会うことが未来を変える最良の出発点にもなるのだ。イェール大学出版局の人気シリーズ第一弾。

若い読者のための経済学
ナイアル・キシテイニー：著 月沢李歌子：訳 すばる舎
A5変型判上製 336頁 2018年2月刊 ISBN:9784799106846 3,520円



建設現場や工場で塩バナナが人気。冷しバナナに塩振るだけ。カリウムとマグネシウムを含むので熱中症予防に、また足つりや疲労回復にも♡ 厚労省も推し♡